

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	超高速情報通信網整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

**事業の概要**  
 すべての市民が情報化の恩恵を享受、実感できるよう、合併地区におけるケーブルテレビ網と超高速情報通信網を整備するため、第三セクターの民間事業者が光ファイバーでケーブルテレビ網を整備し、その回線を超高速情報通信網として活用する整備手法を基本として、事業主体となる民間事業者と協議する中で、超高速情報通信網の整備を推進する。

**2年度概要**  
 庵治町東部・西植田町・東植田町・池田町の一部・菅沢町等の超高速通信網等の管理運営。  
 女木島、男木島におけるWifiスポットの管理運営

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理
--------	----------	---------	--------------

【事業の目的】

対象（何を）	超高速情報通信網が未整備のため、超高速インターネットサービスが未提供となっている地域の市民
意図（どのような状態にしたいか）	未提供地域における超高速情報通信網整備による超高速インターネットサービスの提供

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
島しょ部整備率	%	0	81.1	81.1	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	市域における整備率	%	目標値	99.9	99.9	99.9	100	100
	実績値	99.8	99.8	99.8				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 未整備地域である島しょ部の光ケーブル等の整備に関して情報収集した。 (目標達成度)							(達成度) 99.9% 34点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	17,581	15,050	14,031	15,846
（事業費）	[千円]	15,684	13,159	12,134	13,949
（職員人件費）	[千円]	1,897	1,891	1,897	1,897

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）  
 超高速情報通信網世帯カバー率99.8%であり、未整備地域となる島しょ部の整備手法について情報収集を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）  
 島しょ部については、民間業者のサービスエリア拡大や、技術革新の状況を見ながら、整備手法について研究する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	情報処理システム管理運営事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。			
2年度概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理	

【事業の目的】

対象（何を）	本市の有する情報システム及び情報インフラ
意図（どのような状態にしたいか）	効率的な情報処理システムの管理・運用

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
年間のシステム障害（30分以上）対応件数	件	4	4	2	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	インシデント解決率	%	目標値		100	100	100	100
			実績値		100	100		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） システム障害等インシデント発生時も迅速かつ適切に対応できた。 (目標達成度)							
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	792,679	982,615	939,203	849,018
（事業費）	[円]	716,809	906,995	863,323	773,138
（職員人件費）	[円]	75,870	75,620	75,880	75,880

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 情報インフラ機器の更新や、情報処理システム開発等に加え、利用課のインシデント発生時も迅速かつ適切に対応することで安定稼働できた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） サーバ・端末等の適切な運用・維持管理を行い、本市のシステムが円滑かつ安定的に稼働するよう努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	行政改革推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2160
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（行政改革推進室分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行います。				
2年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの普及促進</li> <li>・マイナンバー独自利用事務拡充の検討</li> <li>・マイナンバーカード利活用の検討</li> <li>・マイナポイントを活用した消費活性化策の周知・啓発等</li> </ul>				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	4	5	7	6	6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
コンビニにおける証明書発行数	通	目標値	38,000	43,000	43,000	43,000	43,000
		実績値	9,104	13,194	16,874		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>（目標達成度）</p> <p>（達成度） 39.2%</p> <p>13点</p>						
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値	222,720	300,000	300,000	300,000	300,000
		実績値	41,683	52,830	59,908		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>（目標達成度）</p> <p>（達成度） 20.0%</p> <p>7点</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,220	12,239	31,746	45,809
（事業費）	[円]	81	140	18,088	32,151
（職員人件費）	[円]	12,139	12,099	13,658	13,658

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

マイナンバーカード利活用策の一つとして、高松市ポイントのサービスを継続しているが、ポイント使用できるまでの手続きが複雑であり、カードの普及につながっていない。交付率向上のため、来年度よりマイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施（マイナポイント予約・取得）に向けた取組を通して、効果的なキャンペーンを行うなど、カードの普及を促進することが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和2年度にマイナンバーカードを活用した消費活性化策、同年度末に健康保険証利用の本格運用開始が予定されており、マイナンバーカードの利便性や安全性について、様々な機会を捉え、カードの普及を図るための効果的な広報やキャンペーン等の活動を行っていく。また、他機関との情報連携やマイナポータルの運用については、国のスケジュールに基づき、円滑な運用ができるよう体制を整えていく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	市民課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2287
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（市民課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行います。		
2年度概要	個人番号カード交付・更新関連経費 証明書コンビニ交付サービス マイナンバーカード普及促進関連経費		
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	4	5	7	6	6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
コンビニにおける証明書発行数	通	目標値	38,000	43,000	43,000	43,000	43,000
		実績値	9,104	13,194	16,874		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） マイナンバーカードの交付及び電子証明書の更新に来庁された市民に対し、コンビニ交付の利用について周知したことなどにより、証明書発行件数が増加したものの、目標値には達しなかった。 (目標達成度)						(達成度)	39.2%
							13点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値	222,720	300,000	300,000	300,000	300,000
		実績値	41,683	52,830	59,908		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民サービスセンターにおいて、写真撮影及びオンライン申請補助サービスを開始したほか、企業や団体、イベントでの出張申請受付を積極的に行い、申請件数が大幅に増加したが、目標値には達しなかった。 (目標達成度)						(達成度)	20.0%
							7点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	118,828	125,650	143,788	159,878
（事業費）	[円]	88,480	95,402	98,260	114,350
（職員人件費）	[円]	30,348	30,248	45,528	45,528

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は、市民サービスセンターにおいて、写真撮影及びオンライン申請補助サービスを開始したほか、企業や団体、イベントに出向く出張申請受付を実施するなど、マイナンバーカードの普及促進に努めたものの、依然目標には届かない状況である。今後は、市民にもっと身近な総合センターでもオンライン申請補助サービスを実施するなど、更に交付増加に向けた施策を推進していくことが必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

マイナンバーカードの普及を図るため、行政改革推進室と連携し、引き続き様々な機会を捉えた効果的な広報やキャンペーン等を実施するとともに、企業や団体に出向く出張申請受付を継続する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（情報政策課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行います。			
2年度概要	情報提供ネットワーク運用 ひっぱりサービス 中間サーバー等運用			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	4	5	7	6	6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2	
コンビニにおける証明書発行数	通	目標値	38,000	43,000	43,000	43,000	43,000	
		実績値	9,104	13,194	16,874			
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） マイナンバーカードの交付及び電子証明書の更新に来庁された市民に対し、コンビニ交付の利用について周知したことなどにより、証明書発行件数が増加したものの、目標値には達しなかった。		(目標達成度)					(達成度)	39.2%
								13点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2	
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値	222,720	300,000	300,000	300,000	300,000	
		実績値	41,683	52,830	59,908			
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民サービスセンターにおいて、写真撮影及びオンライン申請補助サービスを開始したほか、企業や団体、イベントでの出張申請受付を積極的に行い、申請件数が大幅に増加したが、目標値には達しなかった。		(目標達成度)					(達成度)	20.0%
								7点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	41,796	37,965	35,046	53,178
（事業費）	[円]	34,209	30,403	27,458	45,590
（職員人件費）	[円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

国等の通知をもとにデータ標準レイアウト変更対応等、円滑に実施できた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

情報連携については、令和2年6月データ標準レイアウト変更に対応するため、各システム改修を実施する。また、コンビニ交付については、次期証明書交付センターシステムへの移行対応について国等からの指示のもと確実に実施する。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	IC推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	官民データ活用推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民サービスの拡充や経済の活性化を始め、地域住民やコミュニティ、本市が抱える地域課題の発見・解決につなげるため、本市が保有する公共データのオープン化など、官民データの利活用の推進を図ります。
-------	---

2年度概要	オープンデータサイトの運用・保守 オープンデータ利活用人材の育成
-------	-------------------------------------

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	公開可能なデータ
意図（どのような状態にしたいか）	データのオープン化を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
オープンデータ利活用イベント等の開催回数	回	1	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	オープンデータ件数	件	目標値	61	90	120	150	150
			実績値	61	75	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標には届いていないが、国が推奨するデータや新たな分野のデータのオープン化など、データ利活用の環境を整備することができた。 (目標達成度)							(達成度) 83.3% 29点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
			目標値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	9,655	22,820	9,300	9,300
（事業費）	[円]	2,068	7,696	1,712	1,712
（職員人件費）	[円]	7,587	15,124	7,588	7,588

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

オープンデータの数を増やし、データ利活用の環境を充実させるとともに、産学官連携の下、データ利活用人材の育成を進めた。引き続き、データを利活用できる人材の育成が必要である。
---

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

産学民官の多様な主体によるデータ利活用を促進するため、データを高度に利活用し、課題解決につなげる人材の発掘・育成を行う。
--

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	IC推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	データ利活用型スマートシティ推進事業		事業期間	平成 29年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	データの利活用により、本市が抱える地域課題の解決を図るため、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」と連携し、共通プラットフォームを活用して、様々な分野のデータの収集・分析等を行います。
-------	--

2年度概要	システム・情報提供ツールの運用・保守 協議会・ワーキンググループ等の開催 ワーキンググループの実証支援 スマートシティたかまつのPR
-------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	共通プラットフォーム
意図(どのような状態にしたいか)	複数分野のデータ収集・分析や新たなサービスの創出

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
スマートシティ推進協議会・WG等の開催件数	件	6	33	16	19	19

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数	件	目標値	4	6	7	8	8
			実績値	4	4	7		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新たに防災分野において、収集するデータ種別を増やしたことで、効率的・効果的に迅速な災害対応を図れた。 (目標達成度)						(達成度) 100.0%	35点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度(決算)	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(予算)
トータルコスト	[円]	95,531	25,219	39,249	42,684
(事業費)	[円]	87,944	10,095	24,073	27,508
(職員人件費)	[円]	7,587	15,124	15,176	15,176

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

産学民官の多様な主体が参画するスマートシティたかまつ推進協議会において、人材育成やデジタルデバインド対策などの取組を推進したほか、シンポジウムなどを開催するなど、協議会の活性化に向けた取組を進めた。  
今後、取組分野を広げるとともに、他の自治体への横展開を進めていく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

スマートシティたかまつ推進協議会において、産学民官の多様な主体と連携しながら、新たな分野でのデータ利活用や、IoTやAI等の先進的なICTやデータを活用した取組を積極的に推進するなど、スマートシティたかまつ推進プランの各種施策を着実に推進し、本市が目指す「スマートシティたかまつ」の実現に向けて取り組む。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	IC推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	A I 等利活用推進事業		事業期間	平成 3 年度～令和 5 年度

【事業全体概要】

事業の概要	人口減少など、急速な社会構造の変化により、人手不足や財政的制約が強まる中、業務を効率化し、市民サービスの向上や働き方改革を推進するため、A I（人工知能）等先端技術の利活用の推進を図ります。
-------	---

2年度概要	A I 等導入・検証 R P A 運用
-------	------------------------

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	業務に係る時間数
意図（どのような状態にしたいか）	削減

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
A I 等の導入件数	件				3	3
R P A の導入件数	件			5	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	業務削減時間数	時間	目標値			300	700	700
			実績値			1,400		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） R P A を 5 業務に導入し、目標以上の効果を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 466.7%
								35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29 年度（決算）	平成 30 年度（決算）	平成 31 年度（決算）	令和 2 年度（予算）
トータルコスト	[千円]			11,878	18,388
（事業費）	[千円]			4,290	10,800
（職員人件費）	[千円]			7,588	7,588

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

R P A を活用し、税システムへの滞納状況の入力業務など、5 つの業務で活用した。業務プロセスの見直しや、自動化する作業のシステムへの登録など、職員のスキルの向上が必要である。
---

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

A I 等先進的な I C T を活用した全庁的な業務改革を推進し、働き方改革、市民サービス向上を図る。
--